

平成25年3月期第3四半期（連結）の概況

経営成績

当第3四半期連結累計期間の我が国経済は、震災からの復興に伴う需要の増加などを背景に、緩やかながら回復基調をたどりましたが、エコカー補助金の終了などもあり、徐々に回復のペースは鈍化しました。海外では、欧州における金融不安、中国での景気拡大鈍化、米国での景気回復のペースの減速傾向が継続しました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、鋼材やアルミ圧延品の販売数量は、国内自動車向けの需要が第2四半期までは堅調に推移したものの、鋼材海外市況の低迷や円高の影響などにより輸出環境が悪化したことから、前年同期を下回りました。油圧ショベルの販売台数は、震災からの復興に伴い需要が堅調であった国内や、東南アジアにおいては増加したものの、主力市場である中国では大きく減少し、全体としては、前年同期を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ1,618億円減収の1兆2,477億円となり、営業利益は、前年同期に比べ626億円減益の64億円、経常損益は、前年同期に比べ664億円減益の162億円の損失となりました。また、四半期純損益は、前年同期に比べ352億円減益の226億円の損失となりました。



売上高**12,477**億円**営業損益****64**億円**経常損益****△162**億円**四半期純損益****△226**億円

※矢印は前年同期比

事業部門別売上高情報

事業部門（セグメント）別の状況は以下のとおりです。

詳細につきましては、当社ホームページ「株主・投資家の皆様へ」に掲載の平成25年3月期第3四半期決算短信をご覧ください。

鉄鋼事業部門**5,625** 億円**神鋼環境ソリューション****471** 億円**溶接事業部門****616** 億円**コベルコ建機****2,075** 億円**アルミ・銅事業部門****1,990** 億円**コベルコクレーン****327** 億円**機械事業部門****1,147** 億円**その他****444** 億円**資源・エンジニアリング事業部門****271** 億円**調整額****△493** 億円

調整額は各事業間の内部売上高等の消去額です。

※矢印は前年同期比

郵便はがき